

みち はず
道を外さぬ — 仏法ぶつぽうの大海たいかいは、信しんによりて能入のうにゅうす — (三版)

ぶつぽうまな げどう そ
仏法学ぶつぽうがくぶも外道げどうに逸それる
みち はず かんが ふた
道を外はした考かんがえ二つ

いつさいしゆじよう ことごと

一切衆生いつさいしゆじように悉ことごとく

とうと ぶつしよう あ

尊とうとい仏性ぶつしよう有あるという

ぶつきようきゆうきよく ここ

仏教ぶつぎよう究極きゆうごく此処ここにあり

しゆぎよう じようぶつ

修行しゆぎようせずとも成じようぶつ仏か

てんねんげどう

天然外道

いつさいかいこう けわごう

一切皆空いつさいかいこう仮和合けわごうと

じしよう ところ かり

事象じしようも心こころも仮かりならば

ひと しょうじ かう

人の生死しょうじも空かうならん

しゃか だるま こだわ

釈迦しゃかも達磨だるまも拘こだわらず

くうかんげどう

空觀外道

なさ な

情け無なさきこと斯なくなるは

しよほう じつそうまな な

諸法しよほうの実相じつそう学まなび無なく

ふぜん なしゆしよう し

不染汚修証ふぜんを知らぬなり

じようしんいちげん

淨信一現